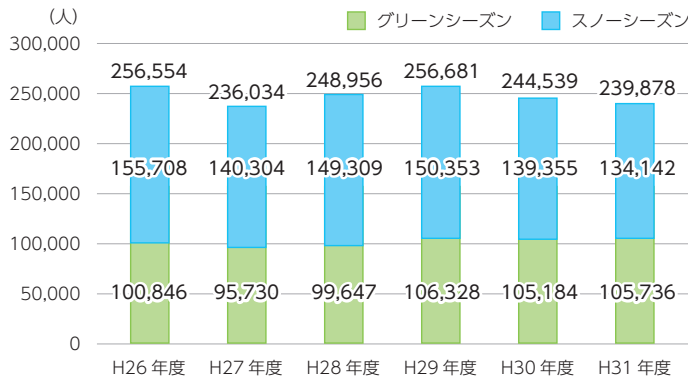


富士見町開発公社・パノラマリゾートの経営状況をお知らせします

☎ 産業課 商工観光係 ☎62-9342

1 パノラマリゾートの状況

～暖冬と新型コロナウイルスによる影響が大きく響きました～



スノーシーズン

スキー・スノーボードだけでなく、キッズパークも大人気。入笠山は、雪山でのスノーシュートレッキングで賑わいます。



グリーンシーズン

山野草公園では、春から夏、様々な山野草の移り咲きを楽しみ、秋は早朝の雲海やナイトゴンドラでの星空観察が楽しめます。



グリーンシーズン

初心者でも気軽に楽しめる「お手軽ハイキングと入笠山トレッキング」のほか、スズランの群生をはじめとした「花の宝庫」が広く認知されてきました。ゴールデンウィークが10連休になったことや、5月から開催された「星野富弘 花の詩画展」を目的とした来場者も多く、順調なスタートを切ることができました。マウンテンバイクコースの運営では、各種大会が開催され、ファミリー層や一般バイカーの参加により盛り上がりを見せることができました。しかし、梅雨明けの遅れや10月には大型台風等の天候の影響により、来場者数は昨年並みに留まりました。

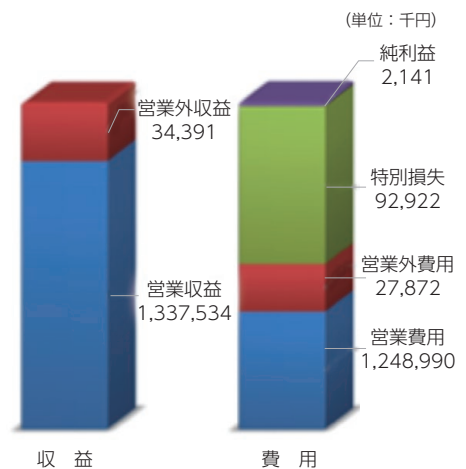
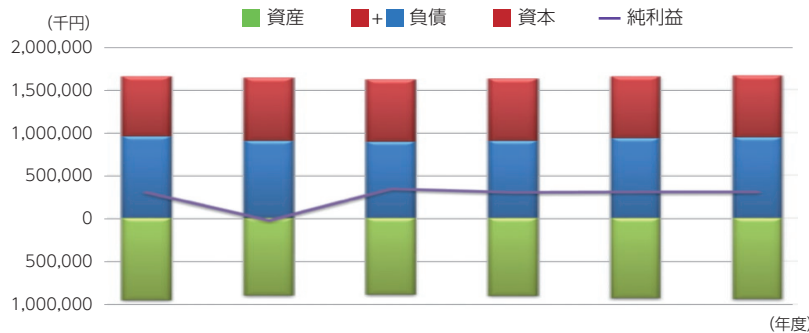
スノーシーズン

記録的な暖冬の影響と雪不足により、県内でも部分滑走や営業日の縮小等の対応をとるスキー場がある中、人工降雪機による安定的な造雪作業が進み、12月7日には予定どおり上部1キロコースをオープンさせることができました。全面滑走は昨年比13日遅れとなったものの、シーズン前半の来場者数は順調に推移しました。しかし、自然降雪が少なかったためにトレッキングの利用者が伸び悩んだことと、2月に入り新型コロナウイルス感染症の影響により来場者が減少し、3月には休校措置による団体のキャンセルも重なりましたが、年間を通じた積極的な営業活動により来場者数は前年比96%で食い止めることができました。

2 平成31年度（令和元年度）富士見町開発公社の決算状況

富士見町開発公社は、パノラマリゾートの他にも川崎市少年自然の家、多摩市少年自然の家、戸田市少年自然の家それぞれの指定管理を受託し、事業を行っています。

また、本社事業として丸山墓地の指定管理も受託しており、適正な維持管理に努めています。



	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
収益	1,553,942	1,375,001	1,512,270	1,476,768	1,396,354	1,371,925
費用	1,551,984	1,411,462	1,505,835	1,475,334	1,394,039	1,369,784
純利益	1,958	-36,461	6,435	1,434	2,315	2,141
資産	953,623	899,709	889,185	901,170	929,841	939,589
負債	1,646,497	1,629,126	1,612,240	1,622,863	1,649,291	1,656,971
資本	-692,874	-729,417	-723,055	-721,693	-719,450	-717,382

施設管理事業では、各施設ともそれぞれの自治体の要請に沿って、安全、安心の事業運営に努めました。指定管理事業の基幹である自然体験活動については、四季を通じた様々な活動から自然について総合的な学習ができる環境を提供し、子ども達の「健やかな身体」「豊かな心」を醸成するよう、それぞれの自治体の付託に応えました。3月には新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用人数が大幅に減少したものの、3施設全体としては前年度比95%で食い止めることができました。